太宰府中学校3学年だより

No.2　　R4.4.7　　文責：3学年主任

どんな「学年・クラス」にしますか。
そしてどんな「わたし」になりますか・・

先日始業式を終え、3年生としての新しい1年がスタートしました。
皆さんの「おはようございます」という明るく元気な姿を見て、私も安心しています。
新しいクラスや仲間たちと過ごす1日はどうですか。まだ新しい環境に慣れずに、落ち着かない人や、様子をうかがっている人もたくさんいるようですね。明日は、いよいよ新入生が入学してきます。今回、残念ながら皆さんは入学式に参加できませんが、来週からは「最上級生の先輩」として見られる立場になります。
「最上級生」としての意識が高まるよう、今の環境にできるだけ早く慣れるようにしましょう。

さて、どの人も新しい1年を迎えるに当たって心機一転（あることをきっかけに、すっかり気持ちや心をよいほうに入れかえること）の気持ちでいっぱいだと思います。
「今年はこんなことを頑張ろう」「こんな学級で過ごしたい」など、様々な期待が高まるこの1年をあなたは「どんな自分に・学級に・学年に」したいと思いますか。そしてこの一年でどんな「わたし」になりたいと思いますか。

前年度の修了式で、校長先生が皆さんに「本気で・本物を目指して、自信を高めよう」とお話をされました。それぞれが持っている良さと持ち味をもとに、自信をもって高い目標をかかげて高めあおうといういうことです。
これまで皆さんは、それぞれがすばらしい良さと持ち味をたくさん持っているにもかかわらず、何かのリーダーや実行委員といった大きな仕事を決めるときに、「私なんか・・・」と、引っ込みがちになることが多かったようです。
それでは、せっかくの良さと持ち味が表に出ないままで終わってしまうでしょう。いつも引っ込んでばかりでは、いつ本気で力を発揮しますか？
例えば中体連最後の試合や高校受験など、これから大きな場面に向かうとき、そのプレッシャーや困難に打ち克つ自信や勇気を出すには、今までのような心構えでは適わないと思います。

今年は、「本気を発揮」する年です。個人というあなた自身だけでなく、学級という集団、部活動という集団、体育会や合唱コンクールでの集団と、様々な集団の中で、3年生は自分だけでなく、仲間だけでなく、後輩と共に「集団の力」を発揮する場面がたくさん出てきます。
また、進路に向かって歩むときも「集団の力」が大きく関わってきます。
失敗することを恐れたり、怖がっていてはチャンスを逃してしまいます。誰でも何かをするのに大なり小なりの失敗は当たり前です。

失敗を恐れず、何事にも「本気」を出し、「自信と勇気」で挑戦し、個人としても、集団としてもよりよく・大きく変化する1年を過ごして欲しいと思います。